

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイサービスtoiro本牧		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 15日		2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2024年 12月 15日		2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援に対する創意工夫	常に職員同士での話し合いの機会を持ち児童ひとりひとりに合った支援をみんなで考え情報共有を行っている	みなで児童の情報を常に把握しその時にあった支援を行えるようバージョンアップしたデータを得やすくするようにする
2	多彩なイベント企画	児童が飽きないようにいつでも最新の情報が得て企画できるようにしている	地域の方が参加できるような企画を増やして地域連携を図る
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域支援・連携の弱さ	放課後等デイサービスの認知度がまだまだ低く、何をやっているかわからない場所である。	地域の方、子供たちの参加できるイベントを定期的に行う 地域資源を利用し放デイに通う子供たちの理解を深めてもらう
2	関係機関との連携	各機関の情報が得にくい 管理者や児童発達支援管理責任者などの一部の職員しか接触がない	各機関の情報をどうやったら得やすくなるかを考え、積極的に複数の職員に参加してもらう
3			

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年3月10日				
放課後デイサービスtoiro本牧						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	4	利用児童が多くなると手狭なのは否めない。スペースを分けて利用するなどの工夫している	2単位目の開所を検討している
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	1	配置数は適正であるが来所児童の特性による。次月の来所児童が分かった時点でシフトに反映させている	更に精査し安全性を高めます
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	5	洗面所、トイレに行くところに大きな段差がある。声掛け、手を添えるなどの安全対策は取っています	現在は肢体不自由な児童がおらず手を添える程度で問題は無いがバリアフリー化を検討します
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		1つのスペースを分け工作・宿題のスペース、遊ぶスペース、静養するスペースにするなどしている	どうしても音や声は遮断できないのでそれをどうするかを検討しています
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		別教室、パーティション、スタッフルームを適宜活用している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	3	少しずつ進んでいるがまだ定着していない	定着を目指し、広く職員の参画を求めます
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	保護者からのご要望はworksなどを使用し共有し業務改善に努めています	把握するツールを工夫しよりご要望の機会を設けます
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		定期的にMTGをしています	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	4	外部からの評価を頂く機会は少ないが品質管理チェックの評価を参考にしています	第三者の評価を多く受けられる機会を考えます
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	1	定期的に研修を行っております	パート職員がより多くの研修を受けられる提案をします
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10		職員内でMTGを行いあらゆる角度から作成しています	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		個別ファイルを作成し職員はいつでも閲覧できるようにしています	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		朝MTGで共通理解のすり合わせをしている	
	15	こどもの対応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	1		HUGなどを使用し標準化されてはいるがもっとわかりやすいツールも考えます

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	1	支援計画書に記載し職員はいつでも閲覧できるようにしており共通理解のもと支援している	全員が常に確認するようにします
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		担当を決めて毎月ごとに作成しているが草案の時点でチームで意見を出し合っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10		スモールステップでできる事、できそうな事を見極めながら支援している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		パート職員にも流れが分かるようにworks等を用いて伝達している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	2	フィードバックが甘く感じる	終了後の時間の作り方を工夫しフィードバックする時間を設けます
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		ケア記録を活用し次回の支援に活かしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	6	4	全職員が理解している様には感じられない	全職員に改めて理解を求め、まずは「地域支援・地域連携」に力を入れます
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	1	お仕着せになりがちな支援に対しては児童発達支援管理責任者よりアドバイスしている	どちらにする？といった選択するイベントを増やしたり、イベントの参加の可否を決める時しっかり理由が言えるような支援を行います	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	5	特に保健、医療との連携が弱い。感染症の流行も学校や保護者あるいはこちらから情報を取りに行っている	様々な状況を考え各機関との連携に努めます
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10		常に情報共有できるよう関係性構築をしている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	3	相談事業所を通じて情報共有をしている	今後、保育所等訪問支援が行えるよう準備をしています
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	2		学校を卒業した児童がまだ少なく今後の課題になります
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	5		できていません。情報を集め設けられるように努めます
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9	1	コミュニティハウスなどを利用し交流する機会を設けています	放課後児童クラブはお迎えの際に申し送りがあった時のみとなっているのももっと積極的に関わりを持ちます
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	5	5		できていません。情報を集め参加するように努めます
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		日々、送迎時やHUGなどを通じて保護者と話をしその内容を全職員に共有しています	

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	4		toiro全体で共通のプログラムを作成し開催できるよう提案いたします
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		説明後、ご不明点を伺うようにしています	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		説明後、ご不明点を伺うようにしています	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10		説明後、ご不明点を伺うようにしています	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		その場で即答できない場合は一度持ち帰り、他職員・児童発達支援管理責任者からアドバイスを受け助言を行っています	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	8	2	オープンデーや夏祭り・ハロウィンパーティなど保護者、家族が参加可能なイベントを企画し行っています	更に機会を増やしていきます
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		内容のずれ違いを防ぐために丁寧に対応しています。もしずれ違いが起きた時には速やかに対応できるように努めています	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10		ブログは定期的に更新しています	今後、別の媒体でもお知らせできるように考えています
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10		夏祭りを開催しました	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	1	定期的にマニュアルの読み合わせを行ったり避難訓練を毎月行っています	更なる周知徹底に努めます
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	2		保護者からの確認にとどまっています。再度、確認を行い安全に対応できるように努めます
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	3		安全管理に対する研修や訓練を行い支援を行っているが更に分かりやすい計画を作成します
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	2		更なる周知徹底に努めます
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		定期的な研修を行っています	

54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10		定期的な研修を行っています	現在、身体拘束を行わなければならない児童はおりませんが今後の事を考え定期的に研修を行います
----	--	----	--	---------------	---